

SNS光っ子ルール

副校長 後藤 大輔

ここ数年でインターネットやメールが関わったことによるトラブルや犯罪が多数報道されています。その傾向は学校にも当てはまっており、小学校でもメール等による子供同士のトラブルは珍しくありません。このような傾向を受け、東京都教育委員会ならびに練馬区教育委員会ではSNSルールを作成しました。本校でもその取り組みを受け、「SNS光っ子ルール」を作成しました。先日プリントを配布していますが、ここでも改めてお知らせします。

SNS光っ子ルール

ルール①

食事中は家族や友達との会話をたいせつにするために、携帯やスマホはいじらないようにしましょう。

ルール②

夜9時を過ぎたら、携帯電話やスマートフォンは保護者にあずけましょう。

ルール③

名前やメールアドレス、個人が特定できる写真などは、公開しません。

ルール④

自分が「言われたらいやだ」と思うことは、携帯やスマートフォンには書き込まない、送らない。

ルール⑤

スマホや携帯電話、パソコンを使っていて、困ったことや分からないことがあったら、必ず、お家の人や先生に相談しましょう。

SNSとはソーシャル・ネットワーキング・サービスの頭文字のイニシャルをとったもので、人と人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型のWebサイトおよびネットサービスのことを指しています。確かにSNSによって私たちの生活は便利になりました。どこにいるか分からない相手とも容易に連絡を取ることができますし、こちらが知りたい情報を見知らぬ相手から教えてもらうことができます。今の自分の生活を振り返ってみても欠かせないものになっています。

先日情報モラル講習会がありました。5年生を対象とした授業と保護者を対象とした講習会です。そこでの保護者対象の講習会で講師の先生からこんなお話がありました。

「大人は直接人と会うコミュニケーションや、実際に体験したからこそ得る充実感や感動を十分体験している。また、SNSの危険性も認識している。だから直接的なコミュニケーションや体験を大切にしつつ、SNSを道具として活用することができる。しかしその経験を十分していない子供にとっては、その使い分けが難しい。その結果SNSに頼りきった、偏った感覚を身に付けてしまう危うさがある。SNSが良い悪いではなく、大切なことは、与える大人がどんな子供に育ててほしいか、何のためにスマホ等のSNSが必要なのかをしっかりと考えることだ。」

お子さんがスマホや携帯を持っている御家庭も、そうでない御家庭でも「SNS光っ子ルール」を一つのきっかけとして、家族や友達との関わり方について考えてみてください。

長い夏休みが始まります。光っ子たちがいろいろな直接的な体験を通して成長し、また9月に会えることを楽しみにしています。